

ブルース・ウィリス／イン・カントリー (1989)

IN COUNTRY

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 アメリカ

時間 116分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

ウィリスが後遺症に悩むベトナム帰還兵を演じるヒューマン・ドラマ。高校を卒業したサムは、再婚した母とは離れて、戦争後遺症で社会復帰できずに苦しむ叔父のエメットと暮らしていた。彼女の恋人は、そんなエメットに批判的だった。そんなある日、サムは戦死した父親の写真と手紙を発見する。亡き父の面影を求めて、叔父やその友人の退役軍人たちに戦争の事を尋ねるが、皆一様に口が重かった。サムはますます関心を持ち、退役軍人の整備士トムと結ばれるが、エメットは……。

戦争の後遺症に悩む退役軍人を描いているが、話の視点はサムに置かれており、ウィリスはどちらかと言えば脇にまわっている。髭ズラのウィリスは好演している。しかし、サムの行動が興味本位にしか見えず、エメットが最後に語る帰還兵の苦しみも説得力がない。ラストの戦没者慰霊碑を訪れるシーンが印象的なだけに、残念である。コッポラの「友よ、風に抱かれて」同様、国内のベトナム戦争ものといえる。

【クレジット】

監督	ノーマン・ジュイソン	Norman Jewison
製作	リチャード・ロス	Richard Roth
	ノーマン・ジュイソン	Norman Jewison
脚本	シンシア・シドル	Cynthia Cidre
	フランク・ピアソン	Frank Pierson
撮影	ラッセル・ボイド	Russell Boyd
編集	ルー・ロンバルド	Lou Lombardo
音楽	ジェームズ・ホーナー	James Horner
出演	ブルース・ウィリス	Bruce Willis
	エミリー・ロイド	Emily Lloyd
	ジョーン・アレン	Joan Allen
	ケヴィン・アンダーソン	Kevin Anderson
	ジョン・テリー	John Terry
	ペギー・レエ	Peggy Rea
	ジュディス・アイヴィ	Judith Ivey
	リチャード・ハミルトン	Richard Hamilton
	パトリシア・リチャードソン	Patricia Richardson
	ジム・ビーヴァー	Jim Beaver